

2016年電気化学会関東支部セミナー 水素社会の早期実現に向けた日本の取組み

概要：地球環境保護の観点から、次世代のクリーンエネルギー源として水素が注目されています。この水素はご存知の通り、燃焼しても排出されるものは水しか出ないクリーンなエネルギーとして知られています。

このように水素は究極のクリーンエネルギーであると言われながら、十分に普及できていない背景としては製造工程での間接的なCO₂排出の問題や、製造・供給・利用に至る全体的な効率が高くないことに起因していると言われています。

本セミナーではこの“水素”に関し、水素活用の国としての取組み、また、水素の製造～利用の現状と今後の課題をご紹介いただき、参加者の今後の研究開発指針等に活かしていただけると幸いです。

日時：12月9日（金） 午前10時00分～

場所：明電舎大崎会館

（東京都品川区大崎二丁目5-35、JR大崎駅西口より徒歩8分）

-
1. 水素エネルギー利活用に向けた取組み(NEDO)大平英二
 2. メタネーション技術に基づく再エネ大量輸送(日立造船)熊谷直和
 3. 再生可能エネルギー由来の水素を利活用する東芝の取組み(東芝)橘高大悟
 4. 家庭用燃料電池「エネファーム」の開発状況と将来展望(東京ガス)小林広介
 5. トヨタ自動車の燃料電池開発について(トヨタ自動車)鈴木稔幸
-

【定員】100名（定員に達し次第締め切）先着順

【参加申込締切】12月2日(金)

【参加費】個人・法人会員 10,000円、専門研究会員 15,000円、学生 2,000円、
非会員 20,000円

【参加申込方法】氏名、所属および連絡先（〒、住所、TEL、FAX、E-Mail）、参加資格（会員/専門研究/学生/非会員）を明記の上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

【申込先】〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-30 アルス市ヶ谷 202 電気化学会関東支部 (TEL 03-3234-4213, FAX 03-3234-3599, E-mail:kanto@electrochem.jp)

【振込先】りそな銀行市ヶ谷支店・普通預金口座（名義：関東支部、口座番号：1601943）

【協賛予定】

日本化学会、高分子学会、日本表面科学会、電気学会、電池工業会、表面技術協会、日本分析化学会、材料技術研究協会、日本MRS、資源・素材学会、化学工学会、日本エネルギー学会、水素エネルギー協会、燃料電池開発情報センター

電気化学会関西支部、電気化学会電池技術委員会、電気化学会化学センサ研究会、電気化学会キャパシタ技術委員会、電気化学会燃料電池研究会